死報國誓ひ奉る

大「「東京の記」美くも 〇〇名は原数の振動とした。」というなど、対象を持ていた事態を受ける。
「東京のでは海道県 とりを見ない。」との名は原数の振動とした。これでは海道県 というない。「東京のでは海道県 というない。「東京のでは海道県 というない。「東京のでは海道県 というない。「東京のでは海道県 というない。「東京のでは海道県 というない。「東京のでは海道県 というない。「東京のでは海道県 というない。「東京のでは海道県 というない。「東京のでは、東京の一大 「東京の一大 」」というない。「東京の一大 「東京の一大 「東京)」 「東京の一大 「東京)」 「東京の一大 「東京)」 「東京の一大 「東京)」 「東京)」 「東京)」 「東京)」 「東京)」 「東京)」 「東京)」 「東京)」 「東京)」 「東京」」 「東京」」」 「東京」」 「東京」」 「東京」」 「東京」」 「東京」」 「東京」」 「東京」」 「東京」」 「東京」」 「東京」」」

北方三十十 文祭が助陸補生 類壁にて自国体。長、顕微寺と たる陸神生は一死もつて類様と つ質中を逃出した。 天皇座下には何十時継が五弾。に仰き夢るの光楽と恐怖激烈。 簡々繁華に江南接い È に迫り

双頼に押らせた機関鍼蹊をる海 雲の奉ったが 陛下には 米芝 製い掘らんとの決蔵を一層四 微減の烈々たる類開を潮灼けの

| 東京 | 米國河蝦夷国ノウラス

空母五十隻を動員

人官吏に加俸支給

晴れの徴兵檢沓質施さる

日】定別局長會議において小森郷

近施することなり情報歌より登装

不定度一億四千六百萬國の増収を

在勤する明元人をる父官、同音選

萬三千石の遺収となつた

○宮北端連令な遺紀をこぼり地正

である。 内壁合物の一大國

に参加してある言冊日間明した 答称第三十零日上玩、 秦

殲滅戦の戦果

るる地の風景楽は十七日」「最る旨を苦明、近く学に夏安の部

殿川化すると至ったので消費が正したが、輸売開保から内地依存は

に進行され、一切の脳路を打開す

◆十八年度於米實收高【一日】

弦に質を結び敵國職滅の微火の戦

十八年の米賀吹高は一千八日七十一家は金融に影響として帰り立つた

すべきであると述べた

◇コークス規正確化【廿九日】

半路同門待望の徹天徹着は鮮内外

組織のものは主張に注言語念

いもの文はい

總督府辦令(II) 建高好鄉 小林春 I 图 本研技術 小林春 I 图 本研技術 以長邊高校術 本研技術 (II) 會類線性當構

東方できたの外 「年間下数に関いた。 東京であたし久は河口、許可を 東京であたした原子ごと(3) 東部であたり、 東京であたり、 東京であたり、 東京であたり、 東京であたり、 東京であたり、 東京であたり、 東京であることであった。 東京であることである。

賣發

高數密所数官(六) 通信畸胎 清水又縣 任無線能 電所長

-いき下文注御 へ店番剝郎 • 中

風俗を正確なる資料により鳴破せる三衆の好響。現在関心の中心たる豪洲の軍事、經濟、社會、文化

、多斯勝文法接直 社本上制統給配)

王インション では、 数著

法と秩序順三・二のボリスシャに必けるホケビン原著

びに一般人にも用方知識を正確に数へる良識。間方原住民の秩序維持の法を論じた簿。學館的証

各和に放いて一座に獲破され、年

国同胞の烈々心る至畝殖國精神は

10 の名の氏公室通行なって出版。以外の高端度の出来等の3・15 の次 (大学商はような、古学院)以外の高端度の出来等の3・15 では、 (大学商はような、古学院)、「大学の高端度の出来等の3・15 では、 (大学商はような、日本の高端度の出来等の3・15 では、 (大学商はような、日本の高端度の出来等の3・15 では、 (大学商はような、日本の一部)、 (大学商はような ・ 日本の一部)、 (大学商はような ・ 日本の一部)、 (大学商はような ・ 日本の一部) (大学商はまる ・ 日本の一部) (大学商はような ・ 日本の一部) (大学の ・ 日本の一部)

合とを商はずこれら融合に示加入。を思じて財務が謎を資産して製造して製造して製造

工木營繕工

揚し流後一丸となって完勝に選進。欧正要邸について財務局長談を發

度を以て脳み、以て決戦意欲を昂 領は時間を拠切るには顕乎たる聴

はわが快開の温度に消愕した敵が 道路を運動するの機因を作り頭に 安全に魔滅しインメール、コヒマ インパール北方監路口に向って進

所に博売され道数な名類家を扱う一出、廿1日より廿六日の五日間駅「電影解学家の第五十四戦を主職・国製造の日盛瀬中を右往左往し座」 ル東北方の影響シクルル附近と戦 | 震撃落回のとの決方から縁出した。 出撃の陸鷲を見送る地上勤務員

「施門國際」

「東京の陸鷲を見送る地上勤務員

「施門國際」

「東京の陸鷲を見送る地上勤務員

「施門國際」

「東京の陸鷲を見送る地上勤務員

「施門國際」

「東京の陸鷲を見送る地上勤務員 ン河を爬河西龍を離けつゝあつた一般してゐる、すなはちこの機能既 わが部隊は廿一日早くもインペー 「印度前機〇〇卅一日同盟」ホマ

別である、本意識における歌楽は相 のである、本意識における歌楽は相 のである。本意識における歌楽は相 サンジャック(ウクルル西進士件) サレイコン(ウクルル西隔古符) ・ 原に突入した温重精鋭部隊は引 ・ タスボン 一日同盟 インパール

多や題司令部は一日次の通り競 インバール東北方のウクル はさらに西方に進出 ルの近傍では日本軍

敗敵を猛爆

際は屋漑として間街道上に提到、敵第四筆頭の生命数を完勝なままでに要職するとゝもと、背後よ 【東部緬印國境〇〇にて長谷川報道班員一日發】歐牙成インペールとコヒマを

樹を後方兵站続は、くも去月廿八日夜わが部隊によって寒酸されたが、廿九日に至ってわが官力謄配

インパール 總攻撃の態勢

背後より壓迫

り敵本據インバールを扼して總攻撃態勢を確立しついるる

カーコラワチ河

大統に他の有力精神酸は廿九日インベール北方世界の地質をした延沙峡をレンな延沙峡をレンな延沙峡をレンな延沙峡を

一下の分割の人場によれば、わ

パウ各地に出版その一隊はタム、 我が陸軍航空部隊は廿八日大胆力 急適中の我が地上部隊に呼鳴する

地には各種者の機能状態での他の、そ以で抽機する、その委員の伝統、 薬師に乗らずる組織する場合のおうから からい 大き買る かくとので乗くとの不月 参加を生物自長が、大き食者では、 関手に乗びする必ずから、 戦合 出版されたが、 戦の出党に絶対するのであるから 京畿道調整課では含みに企業整備一左の 繁領門の整備に帯り組合關係者の一委員會で決定した十八號種の小壺 関係組合毎に企業機能委員會を がき連覧局数を確認した

の一般はタム附近に影響さる歌の、タム、インバーの一般はタム附近に影響さる歌の ・ 1、181、2 三 三 市、 182 三 報 ・ 1 三 市・ 182 三 市・ 182 三 市 182 三 18 を攻撃、必中の巨弾を連続投下機を攻撃、必中の巨弾を連続を攻撃がある。

三ープリー交流によれば、東南 方の地震部の機・機・機・関・できない。つか、すなはら三月廿日午前には「所在の力が認定しれとを認識を関する。」できないのでは、所在の力が認定しれるを認識を **主急組合に加入せよ**

されたものでこれらはウクルル、
のが方にて收谷せる敵の選集の
とする数三千の敵部隊に対してな
に対明せるものは次の通りである

る態機の來避は輸効に繰返されて シャル諸島のわが基地に動す

看了小賣業整備に着手 一て組織する、委員は今後整備に営 つて追接資際開査その他の重要容

【ラバウル二日同盟】三月卅一日一が來職、わが所在部隊はこれと変

で、地上の貨幣機能であった 影画像人機を撃墜、三機を駆映し ·中華次至洋OO基地二日同盟) 九十機來襲

が五回にわたり死難したが、同島でおしても酸中型機能は五種 担害整備、さらに同日午前マルーを避難を選ぶした、わが方の地上の

選任する外公平な立場から利警場で投資以外の一般組合員から若一名

五年十四機が近畿を反復して來た。 では、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のに、日本のに、中国に、日本のに、日本のでは 機能活した、わが万地上の指言は る必要があるので、 ため、地方行政を決勝でいいい 置に基く中央事務の地方移信等の 行政末端の配新選化、決議注常措

の 密鉄を 主服とすると(6) 地方官変養成所の修と(3) の ア月に短編し最繁の頭化だ常務(の外一を調が問題) 増掘上

間之を行はざること

白水社新刊

振榜與《三三十八卷

地方屬體溫非常

措置

日内を以て地方順、地方順便に開 本変調は地方姿勢の刷新と開業化 で記の電影管、不能等等の一 的 際止等多選的非常指、を盛るもの 地方廳、地方團體

学をして積極的に載時と共に他面地方展會及

性格と資源

ルなき旅客の敷は、格 ますく飛化されたが ますく飛化されたが

大日本出版株式會社際語言

選ばれ

た男

セルバンテス短篇選集(下)

明田 田澤

Aceは、自然後・当的(C・BO)・名称(Dio)

人を与にようて、※前の交流会社 ・ 一世に年づ千五百國内外の ・ では、一日に年づ千五百國内外の ・ では、一日に年づ千五百國内外の ・ では、一日に年づ千五百國内外の

ラバウル百廿三機來襲 機を撃墜破

九四の年版(精烈)の脳解音科解典として世界的に名響ある

学時的文は長期計畫出事務及 可、承認を

るくの勘から見て、無駄なこと をの違い人をちばかりである。い

講話上卷雲

客であって、いはゆる汎威威行に

の面目が一新を孔牛園どおけ として楽学を変り出すを学して楽り歌刀の衛門に織るるこのは、 の面目が一新を孔牛園どおけ として楽学を楽り出すを学して楽り歌刀の衛門に織るるこのは、 の面目が一新を孔牛園どおけ

更に拓く進學の

需要 割期的医育の强化

危機は必ず克 府呂面等に對する認

なは昭和十九年度の新規人無許可

定員を昭和十八年度に比し千餘

世、歌語だようて新たに「自名の省 戦、と響し巡察の門が続けられたる は其下のなる情報等でり見て場 局、女兄がとうでも悪に社合された。 として、人名のである。 が変や で危機克服の当信を被蓋、左の これたナテス議地方指導者設置 ◇室庫相は一日ベルリンで開催! 打破に成功にベルリン一日同盟】ゲツベル | 園にあつた

る高等、製門學校への進撃の機関

を機体的に戦大するとに労めた 名を一層に増加し半島におけ

のであるが、今回順公立勝場の

開戦の第廿三届日、インバール第一 残しインペール、コヒマ道路の

敵、全面的崩壊の兆

一個展開以上の撤およびその西北

大動揺を來してゐる

また一方トンサン

所服治一個部隊はわお精鋭の護皮方において推奨されてゐる第十三

変分がたぬ猛攻によって 兵害、 順

部に向って送却を開始し、わず部の敵も浮足立つて動揺し一部は北

1945 1945

ル攻撃の敗勢は含や際に完成せん

としてある

兵站線は今や全くわが部隊により の簡素を歌機してあるなど敵後方 が部隊はインペール、コヒマ道上

崩壊の兆が濃厚にな

地等重要的階施設は次から次へと地等重要的階施設は次から次へと

けか神武天皇祭

すなはちダム附近の第廿配題の一あり、このためダムの残骸もまた

万山中に向って選却を開始しつく

打撃を與へつゝある、

かくして全戦線にわたつて崩れ立 火を浴せかけ殲滅的大 際・敗敵の退路に猛砲

とともに半島人の高等級資部門への進爆に頭に大いなる道が始かれ

ものであるが、石につこ

式は大要左の如き談話を發表した

健兵の基礎全し

三戸卅日附をりて認可さら

戦時に強化は始政以来省づて見ざる例で大學語歌、中等校の理歴工系譜校の大規模な整備語化 公立諸島盟門殿校が新設されることとなり出一日附をもつて翌可された。この地方整督教題の に
 交
 回
 割明的
 な
 加東として
 以
 南地方
 の
 中
 和地
 記
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 日
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和
 和

展京戦略】神武天皇祭の三日、

郷あらせられ、ついで最太后陛下

の御後、差別議員の理職あつて御 観を終へさせられる、この日大和

黄種染御砲を召させられて感感。行はしめられる温壁下にはこの日午前十時御末一典芝山信息子な

典を山信息子を認向、摩察の戦を

りが行機をも願り出して必死の邸

出を試みてゐる

西阿軍再び總崩れ

面の問題となってゐる ン方面に出版、大きくこれを構設

何本所は書に決定せる一般的戦 時戦育非常措施において大興高

新 秋の樹立に高り各地元における
。 民間を受けたが進生的と対して
。 民間を受けたが進生的と対して
、 その際以際のでもの。 その際以
。 を促進さられたことに対し、本の
。 所留のことでは、その際以
る次第である。

等場門及び中等教育におい

打ちラッパ吹鳴による空襲響戦が一ながら福信は流域で活地上交に当一職機の迅敏に振荡を駆しながら直

次次とばせる。おう、いう所へいつ、一つて來る、蝴蝶薇の削方に黒照を

星と維持して行く散機の姿がある

社

吿

動かれ、基地の関々に無へられる

の畝傍山東北峡には柳垣として学

我々が一九三九年にドイツの周って富徳

ゲ獨宣傳相

魔本處分特賣蘭江二田組二回 alwan Le 永遠に 文豪傑作選集 計。知。有名。日本文學代表作

の一般を大学してのましたが経過と導会の日本な子等語が表現とし、登録を対象の日本な子等語が表現といるが経過と導会の日本な子等語が表現となっていません。 城日報社

京

兵

断じて撃つべし、映 ★働く少女達の戦ひ *マーシャルに戦死した父 ★口線 木造船をつくる 三芳勝曹 大 ララピマク 年 戦 車

★女子防空監視哨を訪ふ ★戦よ女學生生活……瀬池の巻

しい。際の必要」も家外がろしくも差したい事業を考へれば「然る であるとも知ら

令が厳しい、やがで監視気の「際 を興地に着く頃には似て歌画配置 では、記者がカメラを提げて防空 即、二、三分隊は00方向に注意 取機能除來る、一分除は〇〇旺方 趣臭、また火を吹いた、さまら者 直ぐ緊張を取り戻すと「射てえー」 つた、中つた。弘豪巡閲はが決改 たで、あつ、奴こさん桿を執りやが を加へた。ことまありる」であると の観音が映出と経さわたる『報道 を叫る、職長の数も胸腔線でつか 「腹膜に対しても『幅へあれば続ひ 震災難に難に得じい、だがこの

五百キロ、大は一種の人ゆる種類を選じて投下され、それらが非常する瞬間の基地は喜に比較の乗りである。配着は高級の防ਆ線をデロエワク地震に近下される館は単によって少い時は百略、多い時は「百敗一幡にもななのである。全世二十六十キロを初め二百五十、ウエワク地震に近ている。

いて、教祭されに対し、熊洋義地震によって一大変悪と解じ、何る日を解に描きつく、格等組つの盟漢軍部家教会の漢書を名称を記録してこれ

ゆるに至った、在ってニューキニヤ政治に関する限りものマライ、ジャフ、比較作政、既に今政治問題に政法がである別に「幾夕に」響ると入れにの問題終職を認めて至く解めかせて友知本地上完に使入を企てる教練の数は日と共に地加し、彼我の支持数は豫々集決を極

類壁·ウエワクの守り 「時人子注意報してが、要達班員

まやウェブクに集中され始める、悪気をめに場光を 【南太平洋前線にて坂入報道班員一

城の商々しい。熊がはなく、熊崎の嵩くが脱粛な機相を呈してある。、隣の大沙原協議の「猪蛇磯湖を一楼」「順子均と子和は空襲義に獲割大の

直袖の任務を舞びを慰園機能であ

起つ家長の方に飛んで來る。よう し、進行方配と別撃隊に注意しる

とのみ見思うてはならぬ。やがて、田宅、館職ならびに交通問題を除っきである。以上の難覧に見ては一

とし、整部時は三月卅一日村を以上、東部時は三月卅一日村を以上、東部時は三月卅一日村を以上、東京の東西である。

心臓へない

集中盲爆も効なし

難に難感に関格を新設すると

迎ろれた×けの問題よりる除標す 目的以外のとを随ぶるべくもない。 の地方「ケ所に簡単などが新 に あらゆる ものを明真し、歌手

整備の重點 地方醫育機關

社

守備部隊の士氣軒昂

では廃氷と同時に覆幕大根・生促成成类の栽培・都督の

って食根も検密され、飛行機関 地にも役立ちかうしてこそ初め 地にも役立ちかうしてこそ初め で、場等比器の大いものが、飛行機関

防寒酸峭をして早く出

造林に

ક

打ち

けふ植樹日

韓聯盟總長飛檄

(2) 終肥の墳蘂 山野草、若葉

溜池溝江等な一種は

| 一般などが大がに観響へられ、大林、いたんどが大林に振響へられ、大林、いたんどが大林に振響へられ、大林、いたんどはないという。

のある。この日金融製造工画団土成 は、一旦五十本金融製、一座、千蔵 本大器町場の加水地域が出来、本

| 国団がの三分一が質を結ぶのであー | 年度比値林野道林後定回復の十八

の回して後高度の生産力を領理なく必要にない、我我自本國民が解除的科師力を提致ない。我就自本國民が解除的科師力を提供の生産力を認定していて、我

機能でする機能である。 は、成本に大き組になって、地に一本でも発生ではない。 をは上述して決定、正常に、10月 としている。 には、10月 としている。 は、10月 としている。 は、10月 としている。 は、10月 としている。 は、10月 としている。 は、10月 は、10月 としている。 は、10月 は 10月 は、10月 は、

国する完成性状態的の展開と際して解析と一本が高度。子は名出助して解析と一部一

三次の大鬼型戦争が起らぬと離 が動き出来よう、関素の消失とが動き出来よう、関素の消失と

な…これの影響として真色では 天原和合の紙型医を認め員に見 大原和合の紙型医を認め員に見 大原和合の紙型医を認める
不動切 な行動や事故の維護を押するこ

本

本店別館電話。 東京都麴町區丸/內武丁目四番地 東京都麴町區丸/內武丁目四番地 東京都麴町區丸/內武丁目四番地 東京都麴町區丸/內武丁目四番地 東京都麹町區丸/內武丁目四番地 田、八十五(8) 一、七五(8) 一、七五(8) 一、七五(8) 一、七五(8) 一、七五(8) 一、七五(8) 一、七五(8) 一、七五(8) 一、七五(8) 一、七五(8)

座富新

かり来る機械のはよりが原心とかり来る機械のはよりで表際喧嘩

舊社名

旭 硝 子 株 式 會 社日本化成工業株式會社

場劇花桃

館畫映信和

これら事故を惹き起した事効員 そこで四十五百名の征撃員

職が断局が長は大型左の如う

・地獄カラダン

生きながら焼かれる原住民

ti

み、子解れのない海は一人もな アンリカンだ、流いて新くでも無数だ 町屋 つた、河やるの目の風の吹き廻 はれ しても深いれば世 げらかく生 寒れ かくことはこうこうこう

統職の前に開立て並き与ら突縮しから総統で威嚇しつく印度兵を我 て死る印度兵の遊は独る國で

のため設定した重原もあった。

り作も揃って感謝の増産

接中

説職の国々

交代·岩田 &

原和。

太 浩郎

る四月五日午後二時府内中国短町海路時に発

本溪湖洋灰(沙)株式會社

館花浪

枝三名を航設、同民国国際の参加 示しこの社際に印度に強も第に堪死半生の終行を加へる紅眼板りを

一この西側になくガイカの個科 から最大の映画材では立てられ な。アフリカからセイロン間へ、頭に は、ビルマベニ過ぎれたらの のではない。 でルマベニ過ぎれたらの

本、富民保報道班員数1、ルカハイ、ベンシャッフ兵に制し ニブール観光に関係に出た窓長、東人族校が現場命令を建した。 の不安心地関係的の場合、東人族校が現場命令を建した。 の不安心地関係的の場合、東人族校が現場命令を建した。 の、大安心地関係のののでは、国外の要では対した。 の、大安心地関係のののでは、国外の要では対した。 の、大安心地関係のののでは、国外の要では対して中枢 に関係の是を制力を含まったは分 であるのきらりに、国際では、 のでは、一般の要では、一般の要では、 のでは、 ので

【緬印 前線〇〇にて橋 ある、レニコット即級においてか

射撃の目標に重慶兵

銃殺など茶飯事

と 世間の抱合せを低値、公配制化の は対しの担合せを低値、公配制化の の利用を維持は、可用に関して公配

らサ分間高級場場を公前、人用 能の処技を繰り戻けて長度

場劇洋東

れた省もあつた、原住民、軍人兵

見るを放ってゐる数であった。手ら始かれたのであらう見昭和の証

手を足を続付けられた多数のブラ

カン人住民が、四河足が、生きなが

別は、『おり』というたま、自を 成った、別外な原性思さく加くら れたこの影響、同のがみ、日本等

しかしながら、配着遊が思

カラメンの総林に近いまた」、 カラメンの総林に近いまた。 町南部は県はず、 軍の保険になったテュー歌歌レグたのは選挙が情なとで、 レス大阪のか兵テラーズローでした

民の犯罪の管任を開催に無人兵の犯罪の管任を開催に表示の必要事件が起い、一般を表示の必要事件が起い、一般を表示の必要事件が起い、その制度、四回兵が京人のいい、その制度、大学の対象を表示して、大学の表示して、大学の表生のないでして、大学の表生のないでして、大学の表生のないでしている。

2000 ない前肢をおりとてし一種、近日の傾向を置いでその正価を出います。 のまして高い がいい いっしいてある 安正語の解析を誘うると共に、はれてき方から影響を持ったがらた 十所ない 「アンソロサクフンのハースの人が一般をあるいか」

は東大門區對於町瓦城數局場で二十年間の局種展開に一定人の指揮を

春競馬蓋開け

本店

交资

有終の境を収めて慣いたい

日本和十時半から開催、散闘八日日本和十時半から開催、散闘八日日本和日の一次、首烈四に思る初日の夢を切った、首烈四に思るが日の夢を切った。

現状として体解後総合能力も十二 ある関係でこの解皮膚が敷はかね

分にあると確信して期待してあた 次第です、またこの開助は我々事

一部子身中の虫ともいへる病臓を癒り出れる。 学問人を感謝するとともに決臓で 学問人を感謝するとともに決臓で

(1) 紫斯人員 画被心名百名 (1) 顯數多所 四月三日一町廿 四月三日一町廿 四月三日一町廿 四月二日一町廿 四月廿日,积一次献齡五月十、四月廿日,死一次献齡五月十十十日日

同温酸に数容されてある少年達の 多くはことに数容されるまで前の 存満見であったのを数十度の不臓

咲いたぞお芋の 花

新が日本とと て設づされたが、田内を取り合 が増し米定度 て設づされたが、田内を取り合 で表されたが、日内を取り合

生徒募集要領

、甦生の少年戦
京殿道山

を添くて開催さればよい 校入展試除事務所知返信用對同

・ 学時の概念観点を理する部が時間 ・ 関イレイ光州・成州の昭地と公立 ・ 関係政門解決は東が顕著版をもつ と、でを表された第七十十日間をもつ と、でを表された第七十十日間をもつ

一學校を認可された態局の大英敬心

さたがし終んであることだらう。 合明らな自然と共に割り合うたが 何となく目先が関かれたやうな別

風土病の解決

口醫院院配出十段

けた多事多種な際で各方面に巡とはいひながら島國の略帯をか

機能嫌の嫌光が叫ばれてある

野者一名といふ状態であってそれ。

兩醫專生徒募集

牧山管成中島が長殿 半島 最優哉耐ならびに合着はその間に

感をいくは今後は戦時下の帰島の

も力をいれてほびたいとはる

强兵の基礎は磐石

で非常にはUく取ってある。 のでも摂和されたことは我々とし

のです、次の光州は南部駅土輌で「紫の髪形する駅氏をいくる単版を一般入する門口が駅内だともいくる」特々な風土病を金融すると共に観

おっす、とういんないの

や活が消じは日との高い

らんとする生徒やその親類も

病気は内臓でしかも象の足のやう

大英斷に處泣

と伝源に基めてい、この強闘の親と伝統と

ころ今回信局の英族によって一時

の対象が必要とされてあたり

心に迷く感謝しなければならない

むる家皮肉のは最地である。この

要者がて頂きたい 家の要求する関兵をつくる母脈を 士を多く歌行し以上のやうな空間

成されるよう怠慢してをります 明るい氣分

我のがき生成人生徒をあづかつてには醫師方面の蘇梭が少く既に我 「畑内景和中級校長隊

の困難を殴りてゐた好会回答局の「くゝなるのです、且下醫學を方面」 (胞子)を散らないやう在はすくこと
又思那を放取る時期
いわ せ、 ムベック何といふのがある。これ

・ 成別には張原な風上声でカシ

蔬菜の増産

りは狭い面積を持つ

城冬端菜の肥塔管理 巻、 人ると同時に充分肥料を

空間地の積率の周囲で

親心に感謝

一般文化の新度なる後端に比べて一般文化の新度なる後端に比べて一般文化の新度なる後端に比べて

(四)入學試験科目 國史、閩語(四)入學試験科目 國史、閩語《作文》與學、和科物家(知)入學試験科

この例生中から成績優秀、身優減

ス | 選三勝数式へ影響技法、平部観土 以 | 一名が悪ばれて影響版士と 以 | 一名が悪ばれて影響版士と

たが、此程水原の御餐社関集試験

従來朝鮮の甘醤増産の大きな監路 お垩の増廃は先づ品種の改良から

方法で朝鮮の短候風土に適する

多敗姓品研言うを同成すること

に引奉され関節新職場に向つた

共同作業の實施 番の出土に同作業の関係 番の出土に同作業の関係 番の る空地は部務常會で定め得血。 一類では単一状の他工作状態と合うだ情がを一理も使用が表してある。 の共同利用地は部級共同でとが、 ・の共同利用地は部級共同でとが、 繁華に努めること

婦人の活動帰人が進ん てお草の増産と貢献せしめること

間試験場では今く砂な行な特殊・お手の角質には現在三つの政路の人工委員が国籍であったが、大同試験が近いに続う、

奈

町二 反を 慰悟して 明年度から全 の水原十四の一四七兆原利剤二 って同試験場では、新年度にはこ

殿の四一五殿間境改を見た、役

展をサリア地でも終しく参照性 七つ後に はべて 数15mm 作画ではり、70mmではなどのかせて人工変、石石同様で 北米の 急気間 のしばれを計算になる映かせて人工変、石石同様で 北米の 急気間の 最も優秀であり、その反當収損は

その中でも水原十四の「四七時が 然状態では始と花が映かない

見事甘藷の人工交配に成 るものと目信を持つてある

現は毎に『紀念』、父に沖縄百一のるが、この水以下四の一四七 は腕綱でも収録が多く、従來最る、そして水原十四の一四七號 廻とを組合せて水原下四 が確認であるから、早戦の 既を組み合せて出來たものであ 一頭と沢原十四の一一八紀のは 京成次を前が出場して「主木製 野田傑氏の三元が出場(こは頃れ の光年航空長では単合称、「日入 際先定の領別を受ける場。これに

日曜は十二時廿七分開映 一 第一日曜は十二時廿七分開映 一

休

颃

座日朝

決

座治明 劇

を施しい。故情の故ばからとはい。 を施しい故情の故ばからとはい。 を施しい故情の故ばからとはい。 を施しいな情報がある。 女……百世期が出の足 を預かる昨年の間里風 然は現実も調練員の他 変ない調等が自立って 多くなってきたが、こ

展館へを金十個に大楽に施立つ決 選館へを金十個に大楽に施立つ決 選を動めた心譜へ添へて沙行機強

日間は十一部門大会が地口による。 文日 決 、 1.80 mm を記されて、 化映 (音)

戰

若

₩01 H•1K K•00 戦 場劇南城

劇

盡

文化映る

では、では、でき 日本ニュース 京「寶

決 日本ニュース城 戰 場劇央中

本にユースに

では、 一般に対して、 一般に対して、 のでは、 告

 できた。
 できた。

 できた。
 できた。
 できた。
 できた。
 できた。
 できた。
 できた。

 できた。
 できた。
 できた。
 できた。
 できた。
 できた。
 できた。

 できた。
 できた。
 できた。
 できた。
 できた。
 できた。
 できた。

 できた。
 できた。
 できた。
 できた。
 できた。
 できた。
 できた。

 できた。
 できた。
 できた。
 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できた。

 できたが、

 できた。

 できたが、

 できたが 謹

日本組の人 大雅

はいる。 はいること、文成の時間は ののが終れであるいと同時はは ののが終れであるから同時には別の ないくついるをと、文成の時間は ののが終れであるから同時には別の ないくついるをと、文成の時間は のがであるから一頭でも多く個 でしたがない。 在城の大地主ら結束

造林賞行、水を穴切にする。 山崎 神をるにきが様木の様にする。 山崎 神をるにきが様木の様だ生 をしたの部と用林何からこ人を 系分とした際、林敷、有変と つにした脚類を繋を続すことに 野むること

兵制の政権と

る工夫を保らして捌元米の世路
レ 双印野調等の 狭取性勿能凡
レ 双印野調等の 狭取性勿能凡
時期であるから一番荷褒を晩約 莨織の消費節約 (地んで見限するやう即落共同しならず後の出外る必不足に耐

関連をとうのでは、 のでは、 のでは、

間ひめるため推細は同大風内両

第日はこの企てに非常な利特を かけてある小数個質が認用して は解を無へる度で観察打と報復 な連絡の上で観察して行く原本 のの規度機能が厚くも会様地士 のでするとごろとなってある

"翼、千五百機二

て、人く・九年度対応部国籍として一切の決議場に大調整開を設り出するの決議場に大調整開を設り出する。 してある同能会理化にようて

一手五百種城作の方法は最初の四

激を献金

十機が最低である の順で沖縄隣の 資金の貯蓄を各家庭の主気が捻

職立期間、七月から九月までを破 問題が間、十月から十一月までを破 時期を期間、十月から全一月までを破 時期を期間、十月から発生三月 は、までを自要機構開心とうるが、こ の信息数、指人系統、抵づ時など の信息数、指人系統、抵づ時など の移動部間などと必需を支部で起 は、一年記号の信息と対象を を指一千二日初の出り間常に最 気部の二百十歳を回復と大阪府 百般、北海洋人十六後、丘田縣 七十五歳、風岡城十二歳壁、

人腕指軍運動」を起し、二千萬台

午後三時から府民館中職堂で發音

銀行することになった

以一千五百八百万元

場劇從日京